

自走式ロータリモア **GM650** バロネス草刈機

取扱説明書 & パーツカタログ

2001.5 ~



“ 必読 ” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの
取扱説明書をお読みください。

BARONESS

目次

ハンドル取付要領	2	10. 操向クラッチの調節について	12
安全に関する警告について	3	10-1. 操向クラッチの調節	12
ごあいさつ	3	10-2. 作動確認	12
各部の名称	4	11. ブレーキ・ニュートラルレバーの調節について	13
ラベル貼付位置	5	11-1. ブレーキ・ニュートラルレバーの調節	13
特長	6	11-2. 作動確認	14
仕様	6	12. 変速レバーの調節（中立出し）について	14
取扱説明	7	12-1. 変速レバーの調節（中立出し）	14
1. 使用前点検	7	12-2. 作動確認	14
1-1. エンジンオイル	7	13. ベルトの調節、交換について	14
1-2. エアクリーナオイル、エレメント	7	13-1. ナイフ関係	14
1-3. エアクリーナカバー	7	13-2. ミッション関係	14
1-4. 燃料	7	13-3. ベルトの交換	15
1-5. タイヤ空気圧	7	14. ロータリーナイフについて	15
1-6. Vベルト	7	14-1. ロータリーナイフの取り付け、取り外し	15
1-7. ロータリーナイフ	7	14-2. ロータリーナイフの研磨、バランス取りについて	15
1-8. カバー	7	15. エンジンについて	16
1-9. 各部の摩擦する部分の注油	7	15-1. ▲注意 エンジン取り扱い上の注意事項	16
1-10. 操向クラッチ、ブレーキ	8	15-2. エンジンオイル交換について	16
2. 各部の締付	8	16. 刈刃ギヤケースのグリス交換について	16
3. エンジン始動運転順序	8	17. 傾斜地作業用オプションについて（特別注文品）	16
3-1. エンジン始動について	8	17-1. 補助ハンドルの取り付けについて	16
3-2. エンジン始動、運転方法	8	17-2. 前輪ウェイトの取り付けについて	17
3-3. エンジン停止方法	9	18. 使用上の注意事項	17
3-4. 機械を離れる時の注意	9	18-1. ▲危険 危険防止のために	17
4. 機械操作について	9	18-2. ▲注意 使用上の注意事項	17
4-1. 機械操作について	9	18-3. ▲注意 高温部注意	17
4-2. 変速レバー	9	19. 安全作業について	17
4-3. 作業速さ	9	19-1. ▲注意 安全の為の衣服について	17
4-4. ブレーキレバー	9	19-2. ▲注意 安全作業について	17
4-5. 操向クラッチ	9	19-3. ▲警告 マフラー・エンジン回りのごみは取り除く	17
4-6. 刈高調整	10	19-4. ▲注意 枯草刈作業は、消火器等を携帯する	17
4-7. 刈刃レバー	10	パーツカタログ	18
4-8. アワーメーター	10	1. 後輪・ミッション部	19
5. 傾斜地作業について	10	2. フレーム・エンジン・テンション部	21
5-1. 傾斜地作業について	10	3. 走行・ブレーキ部	23
5-2. 急傾斜地作業注意事項	10	4. ハンドル部	25
6. メンテナンスの注意	11	5. 刈刃・昇降部	27
6-1. ▲注意 メンテナンスの注意	11	6. 前輪・カバー部	29
6-2. ▲注意 燃料取扱上の注意	11	7. 付属品部	31
7. メンテナンススケジュール	11		
8. ミッションオイル	12		
9. 油圧オイル（HST）	12		

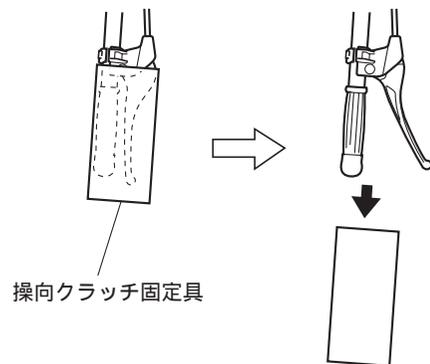
ハンドル取付要領

手順1：木枠から車体を取り出す

ハンドルの操向クラッチが切れた状態（タイヤが自由に動きます）で梱包されています。

輪止め等を取り外し、ハンドルを持ちながら車体を木枠から出して下さい。

出し終わったら、操向クラッチの固定具（袋状のカバー）を取り外して下さい。

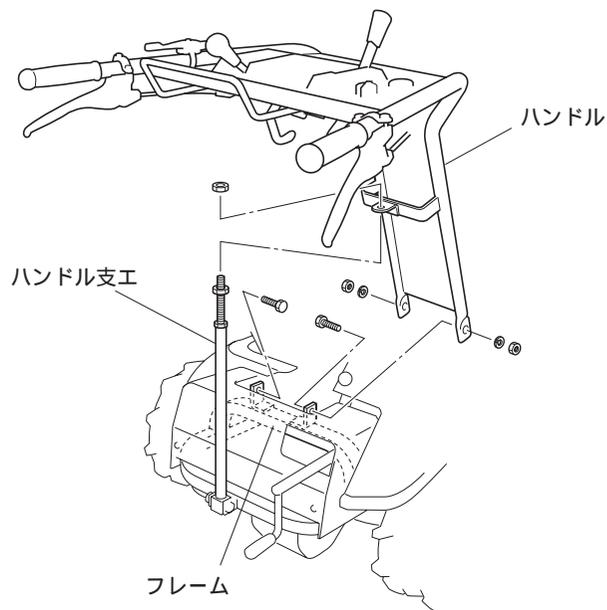


手順2：ハンドルの取り付け

付属のM12ボルトで、ハンドルをフレームに取り付けて下さい。

また、ハンドル支エも同時に取り付けして下さい。

ここでの取り付けは、仮締めにしておきます。



手順3：ハンドルの高さ調節

ハンドル調節ネジで、ハンドルの高さを自由に調節することができます。

（出荷時は、高さ94cmに設定してあります。）

ハンドルの高さが決まりましたら、ここでハンドルを固定して下さい。

手順4：変速レバーの調節（中立出し）

P14「12.変速レバーの調節（中立出し）」を参照して調節を行なって下さい。

手順5：ブレーキレバーの作動確認

本機を低速で走行させ、ブレーキレバーを作動した時に車体が停止するか確認して下さい。

もし正常に作動しない場合は、P13「11.ブレーキ・ニュートラルレバーの調節について」を参照して調節を行なって下さい。

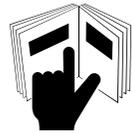
安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

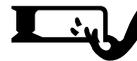
警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行って下さい。

警告表示について

- ▲ 危険** …その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
- ▲ 警告** …その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
- ▲ 注意** …その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しています。



… 取扱説明書参照



… 危険マーク
(手足の切断)

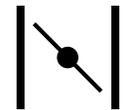


… 危険マーク
(飛散物)



ガソリン

… 燃料マーク



… チョーク



… 危険マーク
(指の切断)



… 注意マーク
(高温部)



… 潤滑油

ごあいさつ

このたびは、パロネス草刈機・自走式ロータリモアGM650型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、ロータリモアに関する正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

正しくお使い頂くため、ご使用前に本書および別冊のエンジン取扱説明書を必ずお読み頂き、機械の性能および操作方法を充分にご理解した上で使用して下さい。なお、工場出荷時には充分な試運転、検査を重ねておりますが、機械が本来の性能を発揮するには、取り扱い方法と作業前後の点検、調整、給油など、日常の管理に大きく影響されます。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全にそして効果的にご愛用くださいますようお願い申し上げます。

ご使用中に際し、不審な点や故障等については、お近くの販売店にお問い合わせ下さい。その際には、機械の型式と機械番号を併せてお知らせ下さい。

▲ 注意

本機は、形式が順次変わる場合があります。

本機に関するお問い合わせの節は、必ず型式・機械番号を合せてご通知下さいますようお願いいたします。

なお、本書記載事項は、予告無しに変更する場合があります。

運転について

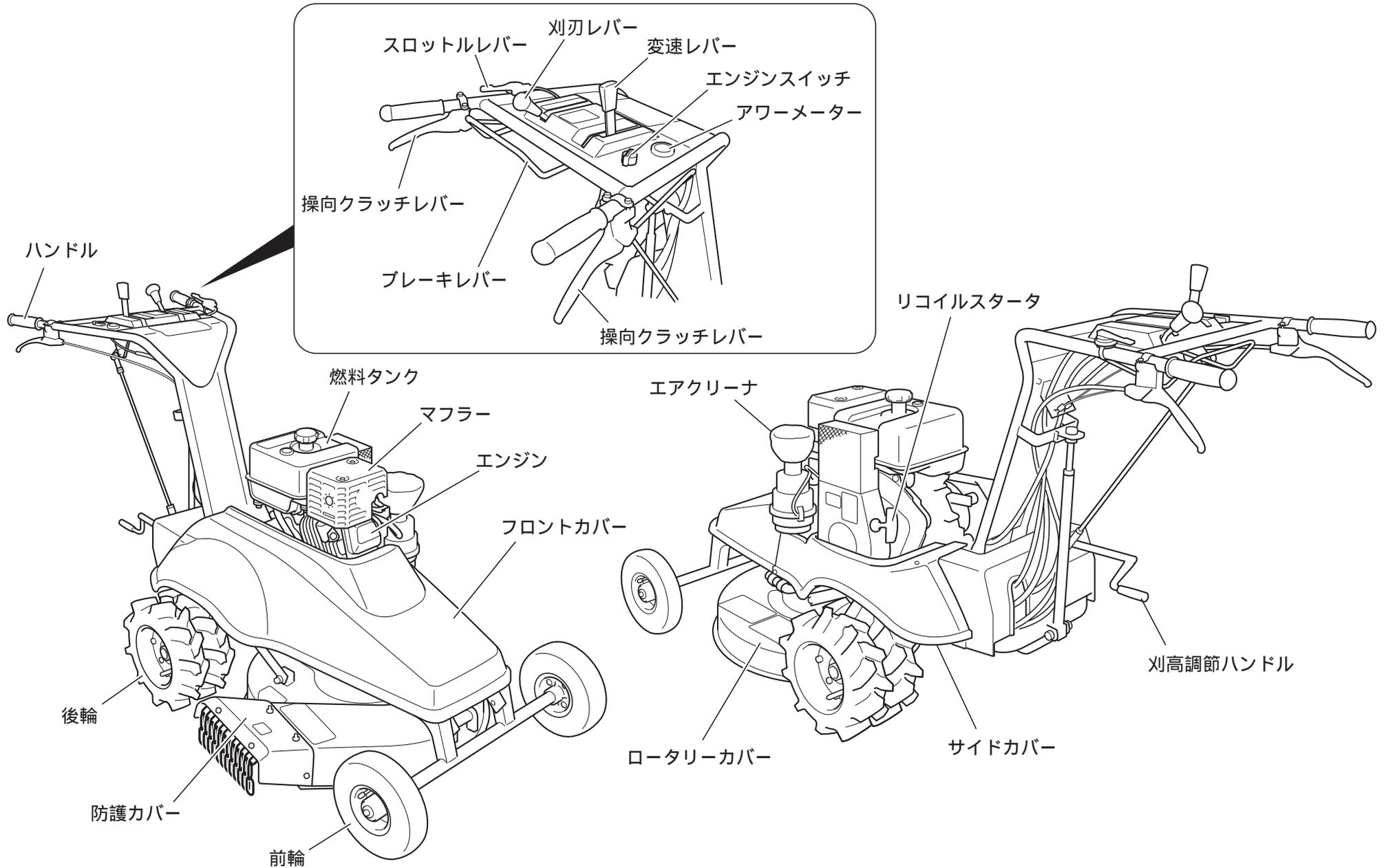
この取扱説明書に記載されているマークおよび機械に貼られている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。

操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、充分理解してからこの機械を操作して下さい。

マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換して下さい。

なお、本機に貼られているラベルは絶対にはがさないで下さい。

各部の名称



ラベル貼付位置

注意

ラベルはきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、新しいものに交換して下さい。

K4205000640
運転前の注意事項ラベル（走行型）

注意

- 下記運転操作により安全に作業を行なって下さい。
- 取扱説明書を十分読んで下さい。
 - 全ての操作部の位置と機能を覚えて下さい。
 - 斜面での本機の運転は、操作に十分慣れてから行って下さい。
 - 運転席を離れるときは、
A・駐車ブレーキをかけて平坦地に止めて下さい。
B・エンジンを停止させて下さい。
 - 点検修理をする前に全ての部分が停止している事を確認して下さい。
 - 回転する刈刃によってはね飛ばされるような物は取り除いて下さい。
 - 人やペットは機械に近づけないで下さい。
 - 防護部品は必ずつけ、カバー等は外さないようにして下さい。
 - サルキー等乗用での公道走行は出来ません。
 - 危険・警告・注意等ラベルの指示にしたがって行動しないと死傷又はケガをする事となります。
- K4205000640

K4205000540
指示プレート

注意

リコイルスターター空気吸入口防塵網に埃が付着するとエンジンのオーバーヒートの原因になりますから、作業中時々埃を取り除いて下さい。

K4205000540

K4205000730
エンジン注意プレート小

注意

本機は使用条件が過酷な為に、エンジンオイル交換は、初回5時間使って全量交換し、次からは5時間後に減った分を補給し、10時間使ったら全量交換して下さい。その後は、5時間毎に点検、補給を続けながら25時間毎に交換して下さい。更に埃の多い場所では短時間で交換して下さい。エアークリーナには油量線迄オイルを入れ、布のクリーナカバーをかぶせ、クリーナオイルを常時点検し、汚れたら新しく交換して下さい。

K4205000730

K4205000700
吹出口危険マーク

危険

刃が回転中は近付かないこと。

K4205000700

K4205000670
ベルト回転物注意マーク

注意



動力作動中は回転物に触れないで下さい。ベルトや回転物で指や手をケガをする危険があります。

K4205000670

注意

この防護カバーは必ず本機に取り付けて作業して下さい。

K4205000480

K4205000480
カバー取付注意マーク

危険

- 飛散物、刃でケガをしないよう気を付けること。
 - 運転中、まわり人がいないか破損する恐れのないか確認し作業をすること。
 - 防護カバー、ベルトカバーは必ず取り付けて使用すること。
- K4205000350

K4205000350
ロータリーモア危険マーク

注意

- 使用上の注意事項（ロータリーナイフ）
- ナイフの回転中は、大変危険ですのでロータリーカバーの中へ手、足、物等を絶対に入れないで下さい。
 - 石、針金、棒切れ等障害物は、ナイフ損傷の原因になるので取り除いてから使用して下さい。
 - ナイフのバランスが狂うと、振動が非常に危険であり、機械も壊れますのでバランスを取るかナイフを交換して下さい。
- K4205000940

K4205000940
ロータリーナイフ注意事項

注意

- 急傾斜地作業注意事項（ロータリー）
- 20度以上の急傾斜地で使用の際は、下記事項を必ず守って下さい。
- 作業者は足場を確保するため、スパイク靴等を使用し、機械の下側での作業時間を少なくし、安全を確認して作業して下さい。
 - エンジンオイル及びエアークリーナのオイルは、3時間毎に点検、補給して、エンジンを焼付、磨耗から守って下さい。
 - 急傾斜地での作業は、等高線刈りで行い、旋回の距離は20m以内で、出来るだけ傾斜角度の緩い所で旋回して下さい。
 - 機械の静的横転角度は、45度で有り、25度以上の急傾斜地での作業は横転の危険が非常に高いので、使用しないで下さい。
- K4205000430

K4205000430
急傾斜地作業注意事項（1）

危険

- メンテナンス不良や無理な作業・枯草刈作業は火災の原因になります。 始業前・作業中には下記の清掃・点検等を行うこと。
- マフラー・エンジン回りの枯草・塵埃等の堆積除去
 - 劣化による燃料ホースの亀裂点検
 - 燃料補給時の燃料漏れ点検
 - エンジン運転中の燃料補給禁止
 - ショートによる火災防止のため、配線の点検を行うこと。
 - 傾斜作業による燃料タンク・キャブレターからの燃料漏れ点検
 - 枯草刈作業は、必ず消火器・水等を携帯すること。
- K4205001000

K4205001000
火災防止ラベル

特 長

1. 本機は業務用として製造された刈幅63cm、最大出力7.4kW（10ps）の草刈機で、ゴルフ場のラフ、河川の堤防、公園、グラウンド、工場等の広い場所での草刈作業に最適です。
2. 自走式でラグ付ダブル車輪のうえ、重心が低く、内蔵式走向クラッチとブレーキ連動式テンションクラッチの採用により、傾斜地でも楽に作業できます。
3. 刈刃調節は、ハンドル式で所定の刈高にすばやく対応できます。
4. 刈刃は、熱処理を施した特殊強靱鋼で、よく切れ、耐久力もあります。
5. 速さはHSTの採用により、前・後進の無段階調節がワンレバーで可能となり、地形や草等の状況に応じ、適当な速さがとれます。
なお、特別注文品として傾斜地作業用の前輪ウェイト、補助ハンドルが装着でき、傾斜地での作業をより楽に行うことができます。

仕 様

名称型式		パロネスロータリーモアGM650
標準寸法	全 長	185cm
	全 幅	85cm
	全 高	105cm
質 量		145kg
搭載エンジン	型 式	三菱GM301PN-425
	定 格 出 力	5.5kW（7.5ps） / 3,600rpm
	最 大 出 力	7.4kW（10ps）
	排 気 量	296cm ³ （cc）
速 さ（km/h）		前進無段階 0～6.5 後進無段階 0～2.0
刈 刃 径 ・ 刈 刃		63cm・バーナイフ
刈 高		2～9cm
刈 幅		63cm
能 率 刈幅×速さ×0.7		最大 29a/h
主 ク ラ ッ チ		ベルトテンション式
ミ ッ シ ョ ン		HST一体型ミッション
操 向 ク ラ ッ チ		ドッククラッチ（内蔵式）
駐車ブレーキ方式		ミッション第二軸付内面拡張式
タ イ ヤ		前輪3.00-4 後輪3.50-5
使用最大傾斜角		25度

取扱説明

機械始動前には、必ず下記事項の点検を行って下さい。

1. 使用前点検

1-1 エンジンオイル

オイルゲージは、エンジン後部にありますので、本機を水平にして規定量一杯（1L）まで入っているか確認し、少ない場合は補給して下さい。
またオイルが汚れている場合は、全量交換して下さい。
詳細は16ページ「15. エンジンについて」を参照して下さい。

1-2 エアクリーナオイル、エレメント

エアクリーナには、防塵のためオイルを使用していますので、オイルが油量線まで入っているか確認し、少ない場合は補給して下さい。
また、オイルが汚れている場合は、オイルパン、エレメント共白灯油で洗浄し、オイルを全量交換して下さい。オイルはエンジンオイルと同じものを使用して下さい。



詳細は、エンジン取扱説明書を参照して下さい。

1-3 エアクリーナカバー

エアクリーナに、カバー（布袋）が確実にかぶっているか確認して下さい。
また、カバーの汚れがひどい場合は新品と交換して下さい。

1-4 燃料

エンジン燃料は、自動車用無鉛ガソリンを使用して下さい。燃料ゲージは、燃料タンク上部にありますので、不足している場合は、補給して下さい。



燃料補給時は、11ページ「6-2 燃料取扱上の注意」を参照の上、行って下さい。

1-5 タイヤ空気圧

タイヤの空気圧が適正であるか確認して下さい。
前輪：200kPa（2.0kgf/cm²）後輪：120kPa（1.2kgf/cm²）

1-6 Vベルト

Vベルトが外れていないか、Vベルトに傷がないか確認して下さい。
Vベルトに底割れ、側面亀裂等の現象が見られましたらすぐに交換して下さい。



走行用のベルトは、切れると走行不能になります。

1-7 ロータリーナイフ

ロータリーナイフが破損していないか、ナイフ取付ボルトが緩んでいないか、ロック座金がきちんと装着されているか確認して下さい。
破損している場合は15ページ「14. ロータリーナイフについて」を参照の上、すぐにバランスをとるか交換して下さい。ボルトが緩んでいる場合は増締めし、ロック座金をきちんと装着して下さい。



ロータリーナイフはバランスがくずれると高速回転のため、振動が出て非常に危険であり、機械破損の原因にもなりますので、必ずナイフのバランスをとるか、交換して下さい。

1-8 カバー

防護カバー、その他のカバーが所定の位置に取り付けられているか、破損していないかを確認して下さい。



防護カバーは運転者の危険を防止するものです。
破損の場合は交換し、所定の位置に必ずつけておいて下さい。

1-9



各部の摩擦する部分の注油

ワイヤーの出入口、レバー等の接続部は常に錆びない様に注油して下さい。

1-10 操向クラッチ、ブレーキ

操向クラッチ、ブレーキの点検は、8ページの「3. エンジン始動運転順序」を参照の上、エンジンを始動後、ブレーキレバーを解除し、変速レバーを前進側へ少し倒して低速で走行した状態で、左右の操向クラッチレバーを片側ずつ握った時、正常な動作（9ページ「4-5 操向クラッチ」参照）をするか確認して下さい。

ブレーキの点検は、本機を低速で走行させ、ブレーキレバーを作動させた時、本機がすぐに止まるか確認して下さい。（ブレーキレバーの操作は、レバーを押し下げると作動し、上へ引き上げると解除となります。）

正常な動作をしない場合は、13～14ページ「11. ブレーキ・ニュートラルレバーの調節について」を参照の上調節して下さい。

注意 作動確認の際は、周囲に人、障害物等がない事を確認し、平坦な広い場所で行って下さい。

2. 各部の締付

各部には、ボルト止めが多く使われています。使い初めから暫くの間は、使用しますとボルト・ナット等の緩みが出る場合がありますので増締めをして下さい。

適正締付トルクN・m (kgf・cm)

	普通ボルト	調質ボルト
M6	8 (80)	16 (160)
M8	18 (180)	36 (360)
M10	36 (360)	72 (720)
M12	60 (600)	120 (1200)
M14	90 (900)	

3. エンジン始動運転順序

3-1 エンジン始動について

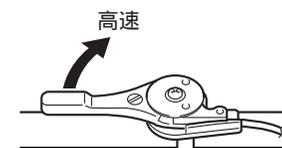
注意



- ・詳細は、エンジン取扱説明書を参照して下さい。
- ・エンジン始動前に、エンジン取扱説明書を読み、充分理解して下さい。
- ・ブレーキを掛け、変速レバーを中立にして下さい。
- ・機械の周囲に人、障害物がないか、安全を確認してから下記順序に従ってエンジンを始動して下さい。
- ・適切な換気装置のない建物内ではエンジンを始動しないで下さい。

3-2 エンジン始動、運転方法

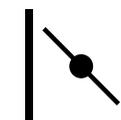
1. スロットルレバーを高速回転域に入れる。



2. エンジンスイッチを「ON」にする。



3. チョークロッドを手前に引き全開にする。
(気温により、必要に応じ使用して下さい。)



4. 変速レバーを中立にする。
(安全装置が働き変速レバーを中立にしないとエンジンを始動する事ができません。)
5. スタータノブを握り、勢い良く引張して下さい。
エンジン始動後はゆっくりと元の位置に戻して下さい。
6. チョークを使用した場合は、始動後エンジンの調子をみながら徐々にチョークロッドに戻して下さい。

3-3 エンジン停止方法

1. スロットルレバーを低速にする。
2. エンジンスイッチを「OFF」にする。

3-4 機械を離れる時の注意



機械を水平な状態に駐車した後、エンジンを停止し、全ての駆動部が停止している事を確認し、ブレーキを掛けてから機械を離れて下さい。傾斜地での駐車は絶対にしないで下さい。

4. 機械操作について

4-1 機械操作について

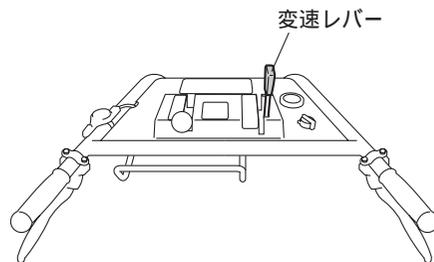


機械を操作する前に、各部品の作動状態が良好であること、特にブレーキ、操向クラッチレバーおよび刈刃部の安全について確認して下さい。

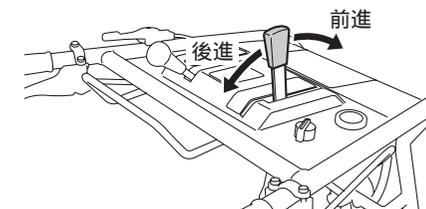
どのような場合にも、緊急停止ができるような速さで運転して下さい。作業地域内の障害物は取り払い、貴方自身あるいは周囲の人がケガをしないようにして下さい。

4-2 変速レバー

変速レバーは、ハンドル上面の右側にあります。



変速は右図のようになっております。



注意 急な変速レバーの操作は大変危険ですので絶対に行わないで下さい。

4-3 作業速さ

作業速さはHSTにより前・後進無段階に変速が可能です。地形、雑草の状況に応じ、適当な速さを使用して下さい。

4-4 ブレーキレバー

ブレーキレバーは、ハンドル手前に取り付けてあります。操作は、レバーを押し下げるとブレーキが作動し、レバーを引き上げるとブレーキを解除します。なお、作業時にブレーキレバーを作動させるとナイフクラッチが切れ、ブレーキが効き、同時に変速レバーも中立に戻りますので、緊急停止として使用することができます。

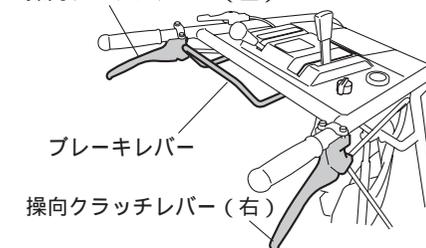


注意 必ずブレーキレバーを解除してから、走行、作業を行って下さい。ブレーキレバーを作動させたままでの走行は、HSTおよびミッションの破損につながりますので決して行わないで下さい。

4-5 操向クラッチ

旋回時におけるクラッチ操作は4輪固定方式になっていますので、前輪を浮かしぎみにして、旋回しようとする方向の操向クラッチレバーを握れば容易に旋回します。操向クラッチレバーを離せば、直ちに前進または後進します。

操向クラッチレバー（左）

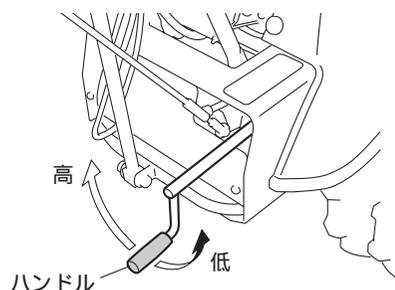


ブレーキレバー

操向クラッチレバー（右）

4-6 刈高調節

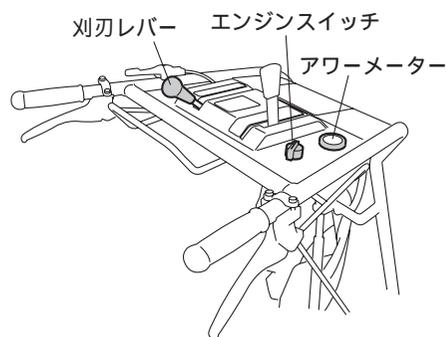
刈高調節はハンドルを右に回すと刈高が高くなり、左に回すと低くなります。



▲ 注意 刈高の調節をするときは、平地でエンジンを停止し、すべての駆動部が停止している事を確認してから行って下さい。

4-7 刈刃レバー

ナイフの回転はハンドル上面左側にある刈刃レバーを押せば回転し、手前に引けば停止します。



- ・ロータリーナイフの回転が正常になるまで、半クラッチを使用して一度に急なクラッチを入れないようにして下さい。
- ・ナイフクラッチは草刈作業直前に入れ、それ以外の時は必ず切っておいて下さい。

▲ 注意 エンストの原因になります。

4-8 アワーメーター

アワーメーターはハンドル上面右側にあり、エンジンの総運転時間を示していますので、メンテナンスの目安にして下さい。

5. 傾斜地作業について

5-1 傾斜地作業について

傾斜地での作業は、斜面一番下方から等高線に沿って作業を行い、徐々に上方へと移向して行きます。旋回するときは、傾斜上方の操向クラッチレバーを握り、旋回終了後は操向クラッチレバーを離して下さい。

燃料は、早めに補給して下さい。

5-2 急傾斜地作業注意事項

▲ 注意 20度以上の急傾斜地での使用の際は、下記事項を必ず守って下さい。

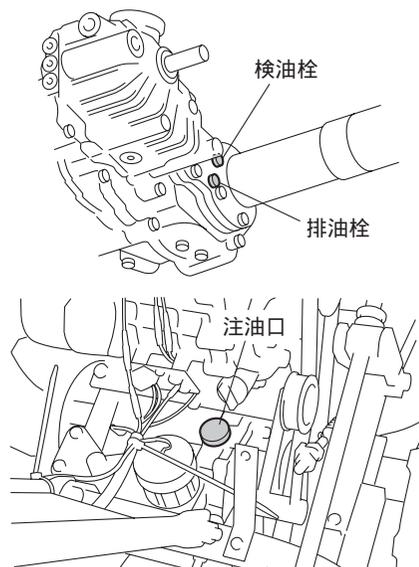
1. 作業者は足場を確保するため、スパイク靴等を使用し、機械の下側での作業時間を少なくし、安全を確認して作業して下さい。
2. 急傾斜地では、作業前に穴、岩石、木の根（その他の不法投棄物）等を確認してから、充分気をつけて作業して下さい。
3. エンジンオイルおよびエアクリーナのオイルは、3時間ごとに点検、補給して、エンジンを焼き付き、磨耗から守って下さい。
4. 急傾斜地での作業は、等高線に沿って行い、旋回の距離は20m以内で、できるだけ傾斜角度の緩いところで旋回して下さい。
5. 25度以上の急傾斜地での作業は、横転の危険が非常に高いので使用しないで下さい。

▲ 注意 地面は平坦ではなく、凸凹や石等が有り、機械傾斜角度が急に大きくなる場合が考えられますので、使用最大傾斜角度は25度とします。

6. 特に急傾斜地で、補助作業者を使ってロープ等で作業しますと、機械が許容以上の急傾斜地まで入り、横転の危険が増し、安全作業ができなくなりますので、メーカーとして絶対禁止です。

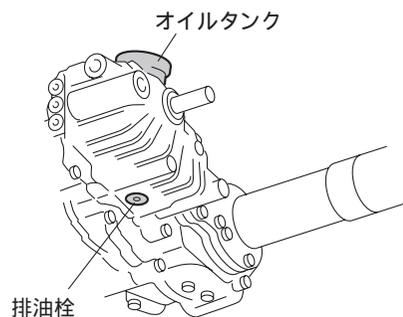
8. ミッションオイル

ミッションオイルの点検は、本機を水平にし、ミッション右側面にある検油栓を外して油量の確認をして下さい。
オイルの交換は、オイルが暖まって流動しやすい状態で排油して下さい。
排油口はミッション右側面下部にあります。
注油口は、ミッション上面にあります。黄色いキャップを外してオイルを入れて下さい。
オイルは自動車用ギヤオイルSAE90番を約0.8L入れて下さい。最初は100時間、以降は300時間または一年で交換して下さい。



9. 油圧オイル(HST)

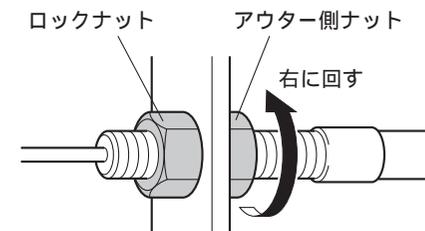
油圧オイルの交換は、HST下面にある排油栓を外して排油して下さい。
注油は、まずオイルタンクの蓋を開け、中蓋を外してからオイルを一旦450～500cm³ (cc) 注油し、アイドルで運転を行った後でHSTを水平にして(前輪を約20cm上げると水平になります)タンクのアンダーとアッパーレベルの間までオイルがくるように数10cm³ (cc) オイルを補充して下さい。
オイルはCD級エンジンオイル10W-30を使用し、500時間ごと全量交換して下さい。



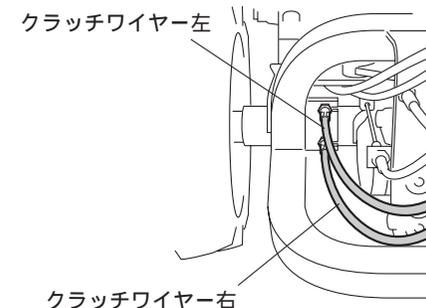
10. 操向クラッチの調節について

10-1 操向クラッチの調節

操向クラッチの調節は、フレーム左後方にある調節ボルトで行います。
まず、ロックナットを緩めてからアウター側ナットを右に回せば、クラッチワイヤーが張り、クラッチが効くようになります。



調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。
調節ボルトは、上側がクラッチワイヤー左、下側がクラッチワイヤー右です。



▲ 注意 ワイヤーの引きすぎは、クラッチ破損の原因になります。

10-2 作動確認

操向クラッチの調節後、本機を低速で走行させ、左右のクラッチの作動が良好であるか確認して下さい。

▲ 注意 作動確認の際は、周囲に人、障害物がない事を確認し、平坦な広い場所で行って下さい。

11. ブレーキ・ニュートラルレバーの調節について

11-1 ブレーキ・ニュートラルレバーの調節

手順1

まず始めに、変速レバーを中立にし、ニュートラルレバーの調節から行います。ニュートラルレバーは、ブレーキレバー作動時に変速レバーを中立に戻す働きをします。調節の方法は、ハンドルカバー裏側にある調節ボルトで行います。ロックナットを緩めた後、アウター側ナットを右に回して、ワイヤーを張って下さい。張りの目安は、ブレーキレバーを作動させた時、テンションバネのばね部の長さが40mmになるように調節して下さい。

調節後、ブレーキレバーを解除し、変速レバーを最大前倒させた時にニュートラルレバーを少し手で押すと、中立出しベアリングから離れることを確認して下さい。もし、この時ニュートラルレバーにテンションが懸かりすぎると、最高速が出なくなってしまいます。ご注意ください。

調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。

エンジン停止中はニュートラルレバーを作動させても変速レバーは中立に戻りません。

手順2

次にブレーキの調節を行います。

調節の方法は、ハンドル裏側にある調節ボルトで行います。

ロックナットを緩めた後、アウター側のナットを右に回して、ワイヤーを張って下さい。張りの目安は、ブレーキレバーを作動させた時、ばねの長さが42mmになるように調節して下さい。

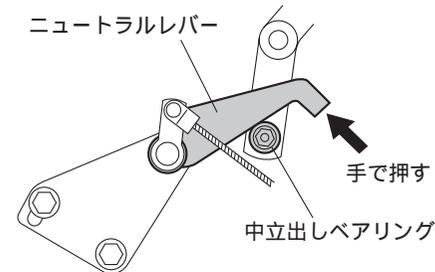
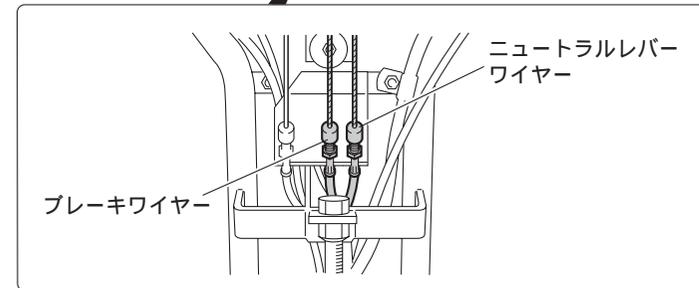
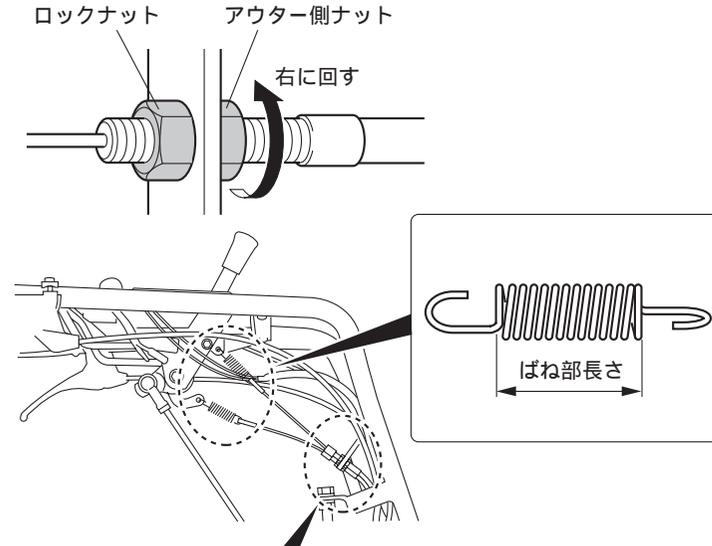
調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。

調節方法

ワイヤーの調節は、ロックナットを緩めた後、ブレーキレバーを解除（上位置）して行くと、ナットを手で回すことができます。ブレーキレバーの「入り」「切り」を繰り返して設定のばねの張りになるように調節して下さい。



注意 ワイヤーの引きすぎは、ブレーキシューの異常磨耗や焼き付きの原因となります。



11-2 作動確認

ブレーキ・ニュートラルレバーの調節後、本機を低速で走行させ、ブレーキレバーを作動させると、本機が停止して変速レバーが中立の位置に戻るか確認をして下さい。この時に、ブレーキからの異音、車体が停止しないなどの症状が出た場合、再度「11-1 ブレーキ・ニュートラルレバーの調節」を行い、ばねの張りを若干強めにして下さい。

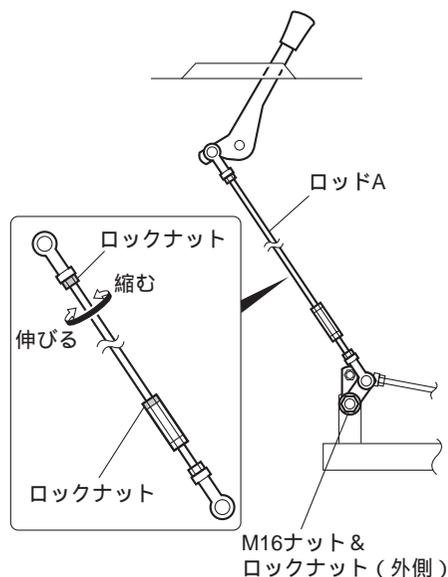


作動確認の際は、周囲に人、障害物がない事を確認し、平坦な広い場所で行って下さい。

12. 変速レバーの調節（中立出し）について

12-1 変速レバーの調節（中立出し）

中立出しは、ロッドAにて行います。変速レバーを中立位置にし、エンジンを始動して車体が前進する場合は、エンジンを一旦停止し、ロックナットを緩め（ロックナットは両方とも右へ回すと緩みます）、ロッドAを右に回してロッドを伸ばして下さい。後進する場合は、ロッドAを左に回してロッドを縮めて下さい。調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。



12-2 作動確認

本機を低速で走行させ、変速レバーを中立に戻すと車体が停止する事を確認して下さい。また、前・後進確認をして下さい。



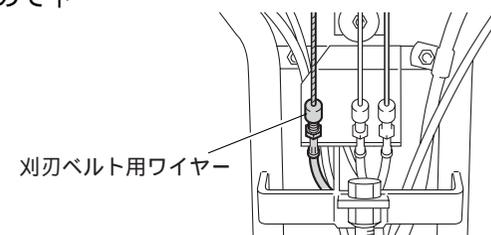
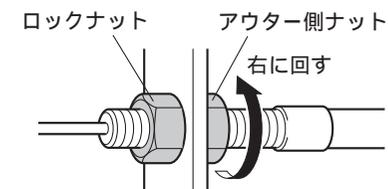
作動確認の際は、周囲に人、障害物がない事を確認し、平坦な広い場所で行って下さい。
また、変速レバーの固さ調節はM16ロックナットを緩め、M16ナットで行って下さい。調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。

13. ベルトの調節、交換について

13-1 ナイフ関係

刈刃ベルトテンションの調節は、ハンドルカバー裏側にある調節ボルトで行います。ロックナットを緩めた後、アウター側ナットを右に回すと、ワイヤーを張る事ができます。

調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。



13-2 ミッション関係

走行ベルトの調節は、フロントカバーを開けた右側後方にあります。ロックナットを緩めた後、調節ナットを右に回すとベルトを張る事ができます。

調節後は、必ずロックナットを締めて下さい。

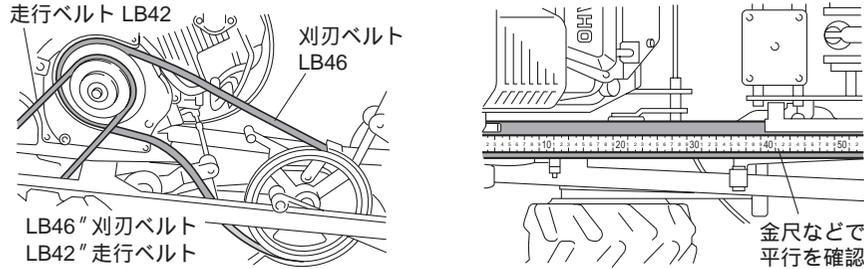


ベルトの張りすぎは、ベルト、スプリングの寿命を短くします。

13-3 ベルトの交換

ベルトの交換は、カバー、ベルトストッパーを外し、テンションを緩めてからベルトを交換して下さい。ベルトストッパー取付の際は、ベルトを張ってベルトとの間にすき間がある事を確認してから締め付けて下さい。

ベルト交換時は、必ず各プーリーの平行を確認して下さい。平行が出ないとベルト破損の原因となります。



注意 ベルトをはめる時は、Vプーリーとベルトの間に手をはさまないように注意して下さい。

Vベルトは強度の関係上、ゴールドを使用して下さい。

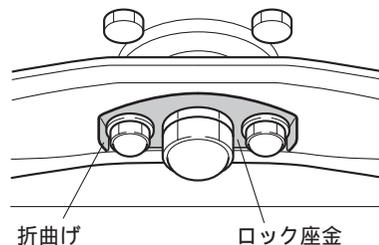
14. ロータリーナイフについて

注意 ロータリーナイフはバランスがくずれると高速回転のために振動がでて非常に危険になります。くれぐれも注意して下さい。

14-1 ロータリーナイフの取り付け、取り外し

ナイフの取り外しは、ロック座金の折曲げを開き、ナイフ締付ボルトを緩めます。取り付けは取り外しの逆の手順を行います。

ボルト締付後は、ロック座金を必ず折曲げて下さい。



注意

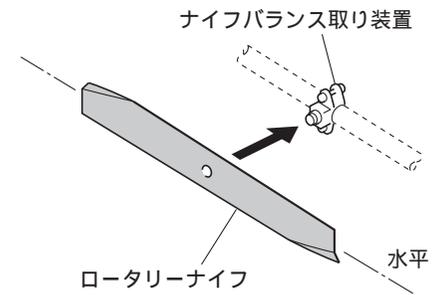
- 機械前部を上げて作業する場合は危険ですので確実にサポートして下さい。
- ナイフを取り外す時、ボルトを緩めるとナイフが落ちますので充分注意して作業して下さい。
- 取り付け時、ロック座金を確実に装着しないと、ナイフ締付ボルトの緩みの原因となります。

14-2 ロータリーナイフの研磨、バランス取りについて

- ナイフの研磨は刃先をグラインダーで研磨して下さい。
- 研磨後、バランス取り装置にナイフを水平にセットし、水平の状態を保てばバランスは取れています。

注意 左右どちらかが下がるとバランスはとれていません。下がる方が重いので再度研磨して水平になるようにして下さい。

- バランス取り装置は図のようにハンドルに取り付けるか、グラインダー付近の適当な場所に取り付けて下さい。

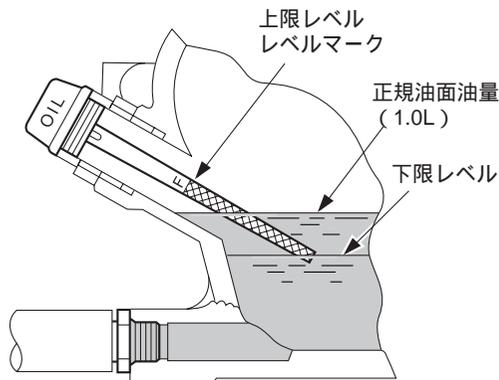


15. エンジンについて

15-1 **注意** エンジン取り扱い上の注意事項

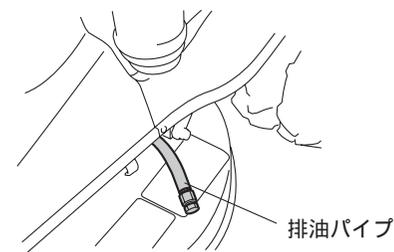
1. エンジン燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用して下さい。
2. 本機は振動、傾斜、ほこり等、使用条件が過酷な為にエンジンオイルの交換は、最初5時間使用して全量交換し、次の5時間目には減った分を補給し、10時間で全量交換して下さい。その後は5時間ごとに点検補給を続けながら25時間ごとに全量交換して下さい。
ほこりの多い場所で使用する場合は、更に短い時間で交換して下さい。
通常はSAE30番、寒冷時は20番、SD級の良質オイルを使用し、交換時はエンジン停止直後、エンジンがまだ暖かいうちに交換し、エンジンを水平にして規定量一杯(1L)までオイルを入れて下さい。エアクリーナには油量線までオイルを入れ、クリーナカバーの布袋をかぶせておいて下さい。クリーナオイルは常時点検し、汚れたら新しく取り換えて下さい。
オイル不足はエンジンを使用不能にします。くれぐれも注意して下さい。
3. 草ほこりがリコイルスタータおよびファンカバー、シリンダのフィンの間につまると空冷エンジンですのでエンジン過熱の原因になります。注意して取り除いて下さい。
4. 機械使用5時間位で一度エンジンのシリンダヘッド締付けボルトに緩みがないか確認し、増し締めを行って下さい。シリンダヘッド締付けボルトに緩みが出ますと、ガスケットが吹き抜けますので、前記増し締めを行って下さい。
締付けトルクの規格はトルクレンチで33~37N・m(3.3~3.7kgf・m)です。

5. オイルポンプはトロコイドギヤ式で balanサギヤにより駆動され、油槽中にコシ網を通ったオイルはポンプによって吸入され、吐出口よりクランクケース内に噴出されます。汚損したオイルで運転すると、コシ網に不純物が付着してオイルの循環が悪くなり事故発生の原因となります。オイル交換は必ず定期的に行って下さい。



15-2 エンジンオイル交換について

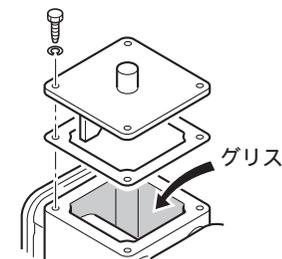
エンジンオイルの抜き取りは、本機左側にある排油パイプより行い、新しいオイルと交換して下さい。



注意 熱いオイルが身体にかかると火傷する恐れがありますので、十分に注意して下さい。

16. 刈刃ギヤケースのグリス交換について

刈刃ギヤケース内のグリスは300時間または1年位で交換して下さい。
日石パイロノックCCO号を約150g入れて下さい。



17. 傾斜地作業用オプションについて (特別注文品)

17-1 補助ハンドルの取り付けについて

補助ハンドルを取り付けるために、ブレーキレバーが変わります。
まず、レバー支点軸のピンを抜いてレバー支点軸を抜き取り、ブレーキレバーを外して下さい(P23「走行・ブレーキ部」参照)。組み付けは、レバー支点軸を元のように差し込みピンで固定して下さい。最後に、オプションのブレーキ操作レバーをレバー支点軸左側にピンで固定して下さい。
次に、補助ハンドルをハンドル裏側にある取付板に付属のM10ボルトにてしっかり固定して下さい。

17-2 前輪ウェイトの取り付けについて

まず、前輪を取り外しウェイトを前輪軸に通して下さい（P29「前輪・カバー部」参照）。次に、付属のM8ボルトにて固定し、ロックナットをしっかりと締め付けて下さい。前輪を元のように組み付けて完成です。

18. 使用上の注意事項

18-1 **⚠ 危険** 危険防止のために



・飛散物、刃でケガをしないよう気をつけること。



・運転中、周囲に人がいないか、破損する恐れのない物がないか確認して作業をすること。



・防護カバーは必ず取付けて使用すること。

18-2 **⚠ 注意** 使用上の注意事項

- ・ナイフの回転中は、大変危険ですのでロータリーカバーの中へ手、足、物等を絶対に入れないで下さい。
- ・石、針金、棒切れ等の障害物は、ナイフ損傷の原因になるので、取り除いてから使用して下さい。
- ・ナイフのバランスが狂うと、振動が出て非常に危険であり、機械も壊れますのでバランスを取るかナイフを交換して下さい。

18-3 **⚠ 注意** 高温部注意



運転中および運転停止直後にカバーやマフラーにふれないで下さい。やけどをする危険があります。

19. 安全作業について

19-1 **⚠ 注意** 安全の為の衣服について

安全の為、機械に巻き込まれないきちんとした衣服を着用し、作業に適した安全器具・メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用して下さい。



19-2 **⚠ 注意** 安全作業について

草刈機は、刃物を回転させる機械で、振動、傾斜、ほこり等、使用条件が過酷な上に、使用する場所、障害物、草の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業される事をメーカーとして強く要望します。なお、整備上の必要部品は、安全確保の為に、純正部品を使用する様お願いします。

19-3 **⚠ 警告** マフラー・エンジン回りのごみは取り除く

エンジン冷却風取入口、エアクリーナ空気取入口、マフラー、エキゾストパイプ部に刈り取った草などの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って、取り除いて下さい。

19-4 **⚠ 注意** 枯草刈作業は、消火器等を携帯する

乾燥した枯草がエンジンマフラー・エキゾストパイプに接触または堆積すると、火災を起こす恐れがあります。初期消火のために小型消火器または水筒に水を入れて携帯することをおすすめします。

自走式ロータリ モア **GM650** バロネス草刈機

パーツカタログ

本機お問い合わせについて

型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と機械番号をあわせてご通知下さるようお願いいたします。

なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

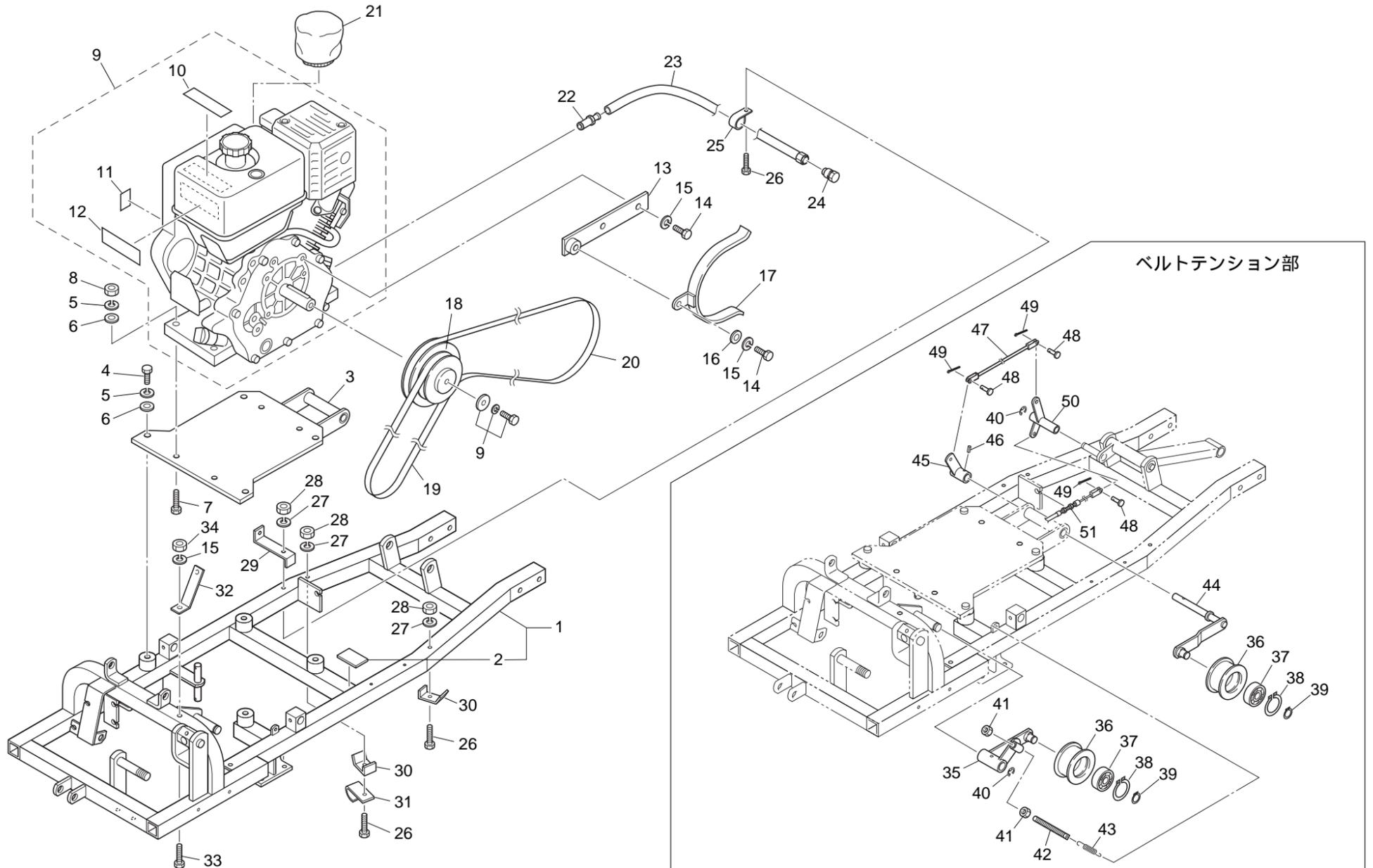
部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	数量
1-13	GM650 0101Z2	車輪取付座	1

2. フレーム・エンジン・テンション部

GM650

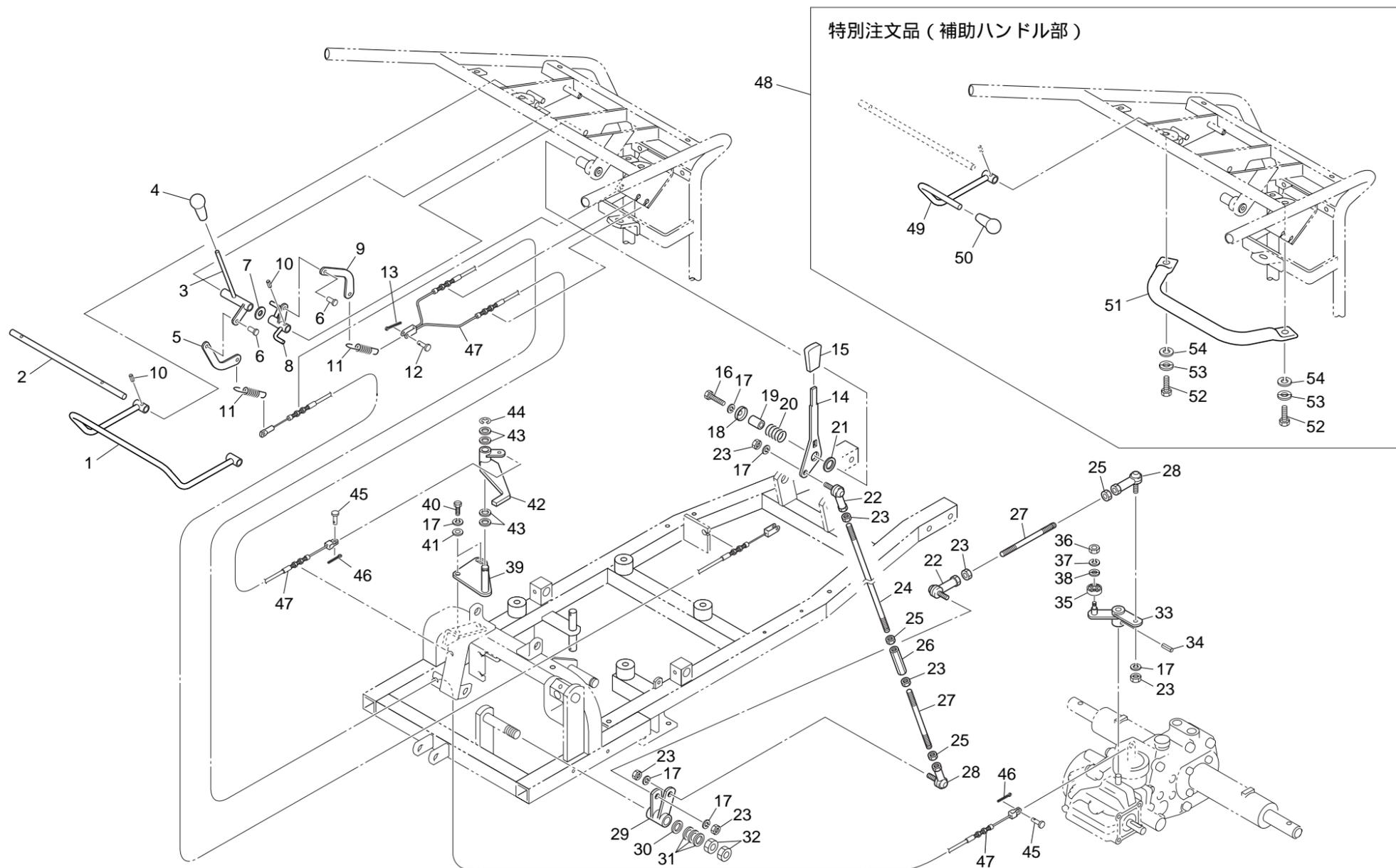


カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-1	GM650 0310Z0	フレームCOMP	1	
2-2	K4033000420	5板ゴム3045	1	
2-3	GM650 0201ZD	エンジンベース	1	
2-4	K0000100302	10ボルト30	4	
2-5	K0200100002	10Sワッシャー	8	
2-6	K5000100002	10ワッシャー	8	
2-7	K0003100502	10ボルト50	4	
2-8	K0100100002	10ナット	4	
2-9	K9270000200	マーク付三菱エンジンGM301PN	1	
2-10	K4205000730	エンジン注意プレート小	1	
2-11	K4205000540	指示プレート	1	
2-12	K4205001000	火災危険ラベル	1	
2-13	GM650 0203Z2	ベルトストッパー取付金具	1	
2-14	K0000080202	8ボルト20	3	
2-15	K0200080002	8Sワッシャー	4	
2-16	K5000080002	8ワッシャー	1	
2-17	GM650 0204Z2	刈刃用ベルトストッパー	1	
2-18	GM650 0202Z2	エンジンプーリー	1	
2-19	K2343042000	VベルトGLB42	1	
2-20	K2343046000	VベルトGLB46	1	
2-21	K4110000010	クリーナーカバー小	1	
2-22	K6084000092	ドレンアダプターM14	1	
2-23	K3140000160	2556-08ホース4-430	1	
2-24	K1420000022	ドレンホース用PF1/2ネジ	1	
2-25	K4270030080	30ハーネスクリップM8	1	
2-26	K0000060452	6ボルト45	3	
2-27	K0200060002	6Sワッシャー	3	
2-28	K0100060002	6ナット	3	
2-29	GM650 0308Z2	ベルトカバー固定金具左前	1	
2-30	GM650 0315ZD	カバー支工金	2	
2-31	GM650 0317ZD	ドレンホース止め金	1	
2-32	GM650 0318Z2	ベルトカバー固定金具右後	1	
2-33	K0000080452	8ボルト45	1	
2-34	K0100080002	8ナット	1	
2-35	GM650 0503Z2	走行テンションレバー	1	

カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-36	K2471180552	テンションプーリー1855	2	
2-37	K0612062030	ベアリング62032RD	2	
2-38	K0402040001	ストップリングR40	2	
2-39	K0401017001	ストップリングS17	2	
2-40	K0400012002	ストップリングE12	2	
2-41	K0100100002	10ナット	2	
2-42	K6122000082	10調節ネジ97	1	
2-43	K103000002D	2.9Uフックパネ15.288	1	
2-44	GM650 0501Z2	テンションレバー	1	
2-45	GM650 0502Z2	刈刃テンションレバー	1	
2-46	K0320045201	4.5スプリングピン20	1	
2-47	GM650 0505Z2	テンションロッド	1	
2-48	K6031060172	6焼入平頭ピン17	3	
2-49	K0300020162	2割ピン16	3	
2-50	GM650 0504Z2	アイドルレバー	1	
2-51	K1140161000	テンションワイヤー1610	1	

3. 走行・ブレーキ部

GM650

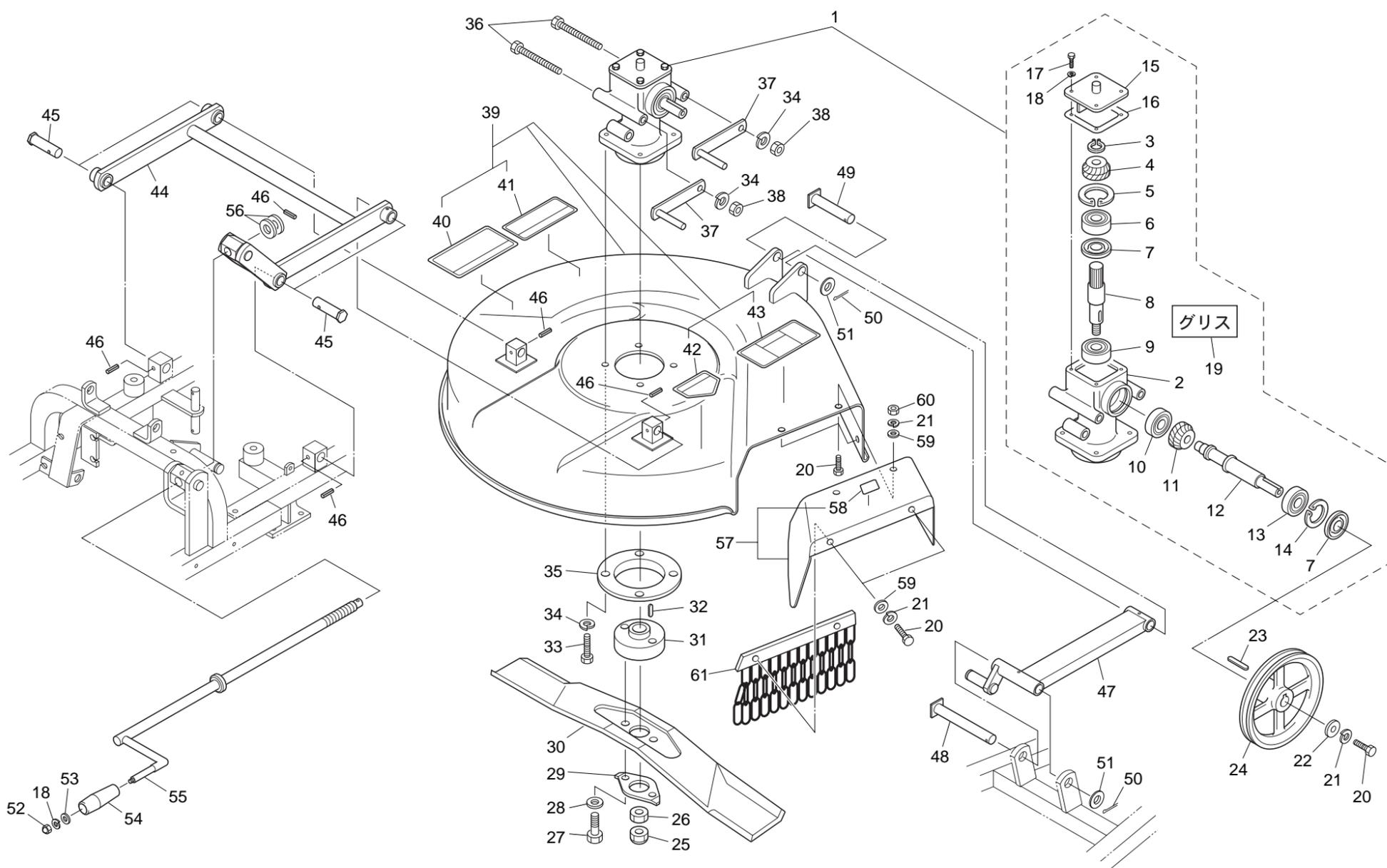


カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-1	GM650 0510ZD	ブレーキ操作レバー	1	
3-2	GM650 0509Z2	レバー支点軸	1	
3-3	GM650 0506Z2	刈刃レバー	1	
3-4	K1300000050	9握り赤35.5	1	
3-5	K5131000582	クラッチワイヤー接子	1	
3-6	K4501000022	平頭リベット4×10	2	
3-7	K5011611182	1.6SPCC座金1118	1	
3-8	GM650 0507Z2	ブレーキレバー	1	
3-9	K5131000292	クラッチワイヤー接子	1	
3-10	K0320040201	4スプリングピン20	2	
3-11	K103000001D	2.9Uフックパネ1564.2	2	
3-12	K6040080222	8丸頭ピン22	1	
3-13	K0300025162	2.5割ピン16	1	
3-14	GM650 0508Z2	変速レバー	1	
3-15	K1301000130	角形グリップ	1	
3-16	K0000080252	8ボルト25	1	
3-17	K0200080002	8Sワッシャー	7	
3-18	K5300000222	押工パネ止め座	1	
3-19	K6212001762	16STKMカラー2216.5	1	
3-20	K1000000058	2.4圧縮パネ2748	1	
3-21	K5011016242	1SPCC座金1624	1	
3-22	K1604080000	エルボールLHSA8	2	
3-23	K0100080002	8ナット	7	
3-24	GM650 0112Z2	変速レバーロッドA	1	
3-25	K0180080002	8左ネジナット	3	
3-26	GM650 0114Z2	変速レバーロッド調節金	1	
3-27	GM650 0113Z2	変速レバーロッドB	2	
3-28	K16040800L0	エルボールLHSA8L	2	
3-29	GM650 0106Z2	コントロールアイドルレバー	1	
3-30	K5000160002	16ワッシャー	1	
3-31	K0211160001	16さらばねH	3	
3-32	K0105160002	16ナット3P1.5	2	
3-33	GM650 0103Z2	コントロールレバー	1	
3-34	K0320050251	5スプリングピン25	1	
3-35	K0604006070	ベアリング607ZZ	1	

カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-36	K0100060002	6ナット	1	
3-37	K0200060002	6Sワッシャー	1	
3-38	K5000060002	6ワッシャー	1	
3-39	GM650 0108Z2	ニュートラルレバー支点金	1	
3-40	K0000080202	8ボルト20	2	
3-41	K5000080002	8ワッシャー	2	
3-42	GM650 0107Z2	ニュートラルレバー	1	
3-43	K5051013220	1C5191P座金1322	4	
3-44	K0400009002	ストップリングE9	1	
3-45	K6030050122	5平頭ピン12	2	
3-46	K0300020162	2割ピン16	2	
3-47	K1120088500	ブレーキワイヤー885W	1	
3-48	GM650 0903Z0	補助ハンドルAss'y	1	
3-49	GM650 0905ZD	ブレーキ操作レバー小	1	
3-50	K1300000040	9握り黒35.5	1	
3-51	GM650 0904ZL	補助ハンドル	1	
3-52	K0000100202	10ボルト20	2	
3-53	K0200100002	10Sワッシャー	2	
3-54	K5000100002	10ワッシャー	2	

5. 刈刃・昇降部

GM650

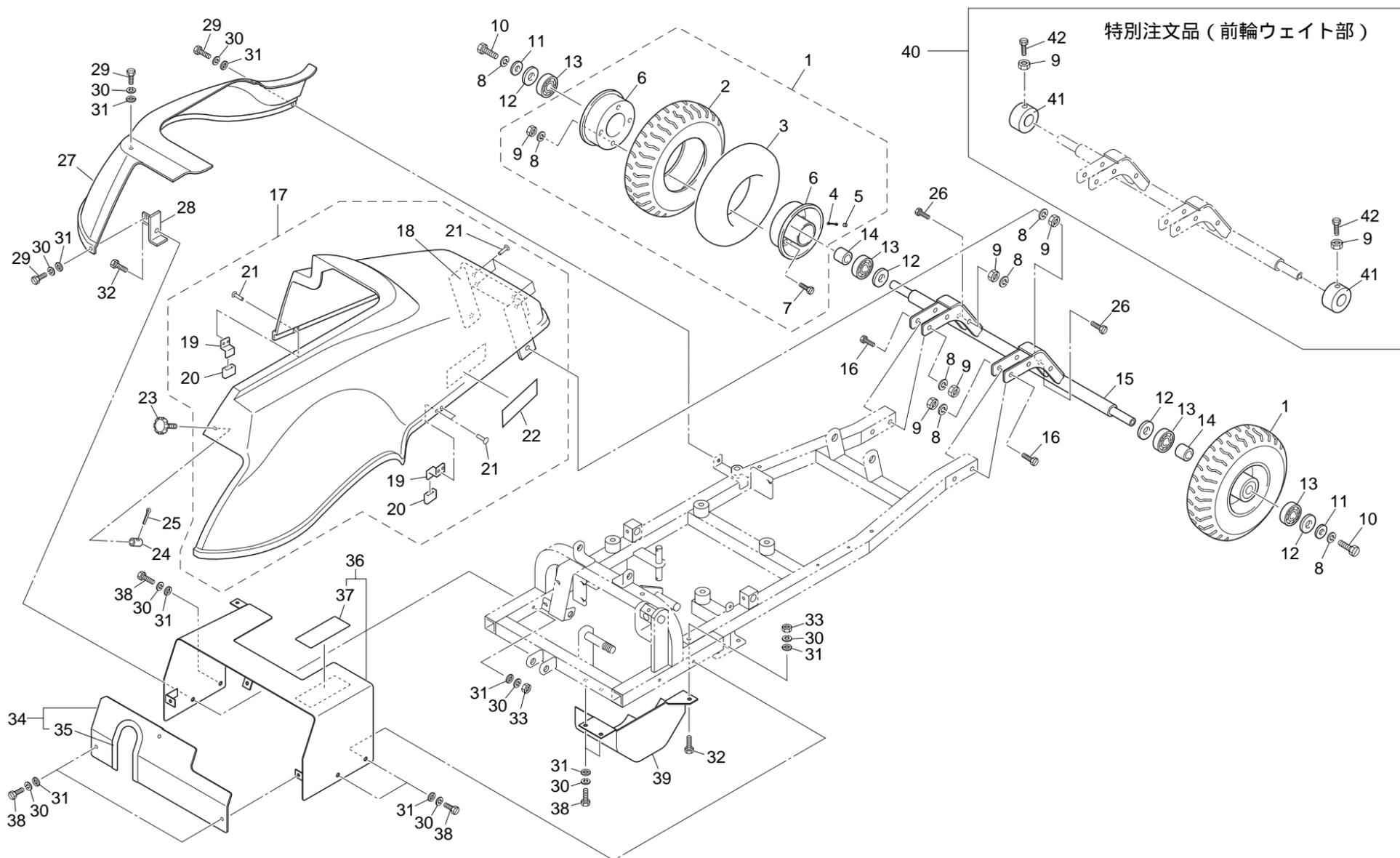


カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-1	GM650 0721Z0	刈刃ギヤケースAss'y	1	
5-2	GM65A 0601CR	刈刃ギヤケース	1	
5-3	K0401020001	ストップリングS20	1	
5-4	GM65A 0613B0	19丁スパイラルベベルギヤ	1	
5-5	K0402052001	ストップリングR52	1	
5-6	K0608063040	ベアリング63042RS	1	
5-7	K0822547080	オイルシールMHSA25478	2	
5-8	GM650 0710Z0	パーチカルシャフト	1	
5-9	K0608062040	ベアリング62042RS	1	
5-10	K0600063030	ベアリング6303	1	
5-11	GM65A 0606B0	サイド軸19丁スパイラルベベルギヤ	1	
5-12	GM650 0709Z0	サイドシャフト	1	
5-13	K0600060050	ベアリング6005	1	
5-14	K0402047001	ストップリングR47	1	
5-15	GM650 0720Z2	ギヤケースカバー	1	
5-16	K4011000170	ギヤケースパッキン	1	
5-17	K0000060152	6ボルト15	4	
5-18	K0200060002	6Sワッシャー	5	
5-19	K2922000000	パイロノックCCO号	150g	
5-20	K0000080152	8ボルト15	6	
5-21	K0200080002	8Sワッシャー	6	
5-22	K5073208322	3.2SPHC座金832	1	
5-23	K0500505450	5両丸キ-545	1	
5-24	GM650 0715Z2	刈刃プーリー	1	
5-25	K0160000152	18特殊袋ナットP1.5	1	
5-26	K0160000142	18特殊ナット1.5	1	
5-27	K0071000921	12調節ボルト21	2	
5-28	K0213120001	12さらばね座金1H	2	
5-29	K5130000322	ロック座金	1	
5-30	K2530000080	ロータリーナイフ630	1	
5-31	GM650 0711Z2	ロータリーナイフ取付座	1	
5-32	K0500605270	6両丸キ-527.5	1	
5-33	K0000100202	10ボルト20	4	
5-34	K0200100002	10Sワッシャー	6	
5-35	GM65A 0632A2	カバー	1	

カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-36	K0003101302	10ボルト130	2	
5-37	GM650 0717Z2	ベルトストッパー	2	
5-38	K0100100002	10ナット	2	
5-39	GM650 0718Z0	ロータリーカバーCOMP	1	
5-40	K4205000430	急傾斜地作業注意事項(1)	1	
5-41	K4205000940	ロータリーナイフ注意事項	1	
5-42	K4205000700	吹出口危険マーク	1	
5-43	K4205000350	ロータリーモア危険マーク	1	
5-44	GM650 0702ZD	ロータリーカバー取付リンク後	1	
5-45	GM650 0706Z2	リンク後取付ピン	4	
5-46	K0320050251	5スプリングピン25	5	
5-47	GM650 0703ZD	ロータリーカバー取付リンク前	1	
5-48	GM650 0704Z2	リンク前取付ピン後	1	
5-49	GM650 0705Z2	リンク前取付ピン前	1	
5-50	K0300032252	3.2割ピン25	2	
5-51	K5012016282	2SPCC座金1628	2	
5-52	K0110060002	6袋ナット	1	
5-53	K5000060002	6ワッシャー	1	
5-54	K1301000120	25レバー握り70	1	
5-55	GM650 0708Z2	刈高調節ハンドル	1	
5-56	K5000120002	12ワッシャー	2	
5-57	GM650 0719Z0	防護カバーCOMP	1	
5-58	K4205000480	カバー取付注意マーク	1	
5-59	K5000080002	8ワッシャー	5	
5-60	K0100080002	8ナット	3	
5-61	GM650 0714Z3	飛散防止チェーン	1	

6. 前輪・カバー部

GM650

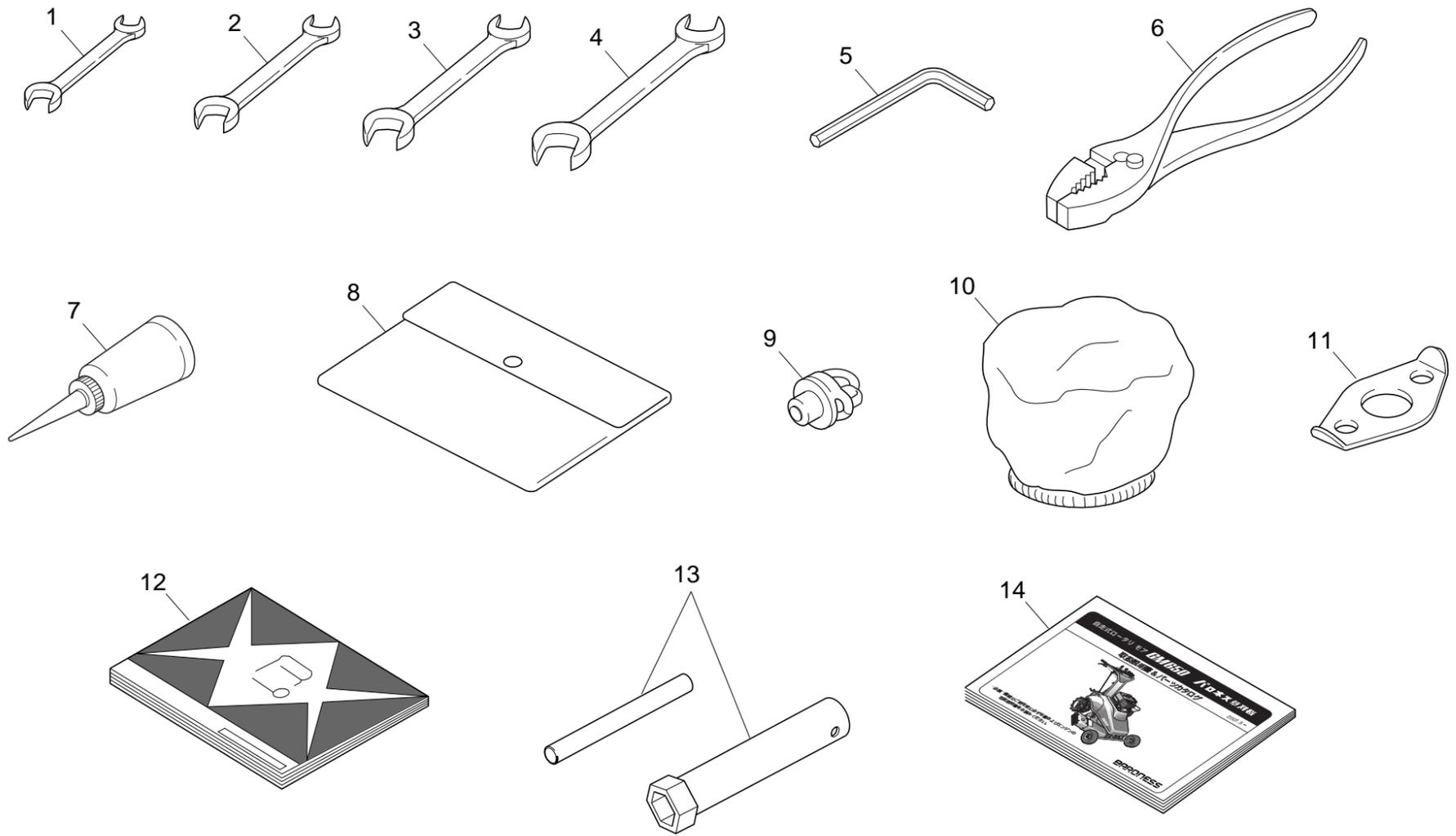


カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
6-1	K2030000160	タイヤ3.00-4 Ass'y B無	2	
6-2	K2031000030	タイヤ3.00-4 UL4PR	2	
6-3	K2091000090	チューブ3.00-4TR244	2	
6-4	K2092000020	バルブコアNo.9000	2	
6-5	K2093000010	バルブキャップ	2	
6-6	K209000007L	ホイール	4	
6-7	K0000080152	8ボルト15	8	
6-8	K0200080002	8Sワッシャー	14	
6-9	K0100080002	8ナット	16	
6-10	K0000080202	8ボルト20	2	
6-11	GM650 0603Z2	前輪取付カラー	2	
6-12	K5011020472	1SPCC座金2047	4	
6-13	K0619062040	ベアリング62042RSNR	4	
6-14	GM650 0602Z2	前輪カラー	2	
6-15	GM650 0601ZD	前輪取付軸	1	
6-16	K0000080502	8ボルト50	4	
6-17	GM650 0311Z0	フロントカバーCOMP	1	
6-18	GM650 0305ZD	ベルトカバー取付金具	1	
6-19	GM650 0316ZD	カバー案内金	2	
6-20	K3197000300	黒トリム小30	2	
6-21	K4510615120	Aエイベックス1661-0512	8	
6-22	GM650 0314Z0	GM650ラベル	1	
6-23	K1320000020	8孔付ツマミ32	1	
6-24	K4031000030	15防振ゴム7.515	1	
6-25	K0300025252	2.5割ピン25	1	
6-26	K0000080302	8ボルト30	2	
6-27	GM650 0304Z0	サイドカバー	1	
6-28	GM650 0307ZD	ベルトカバー固定金具左後	1	
6-29	K0000060152	6ボルト15	3	
6-30	K0200060002	6Sワッシャー	13	
6-31	K5000060002	6ワッシャー	13	
6-32	K0000060452	6ボルト45	2	
6-33	K0100060002	6ナット	2	
6-34	GM650 0313Z0	カバー後小COMP	1	
6-35	K3197002800	黒トリム小280	1	

カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
6-36	GM650 0312Z0	カバー後COMP	1	
6-37	K4205000670	ベルト回転注意マーク	1	
6-38	K0000060122	6ボルト12	8	
6-39	GM650 0306ZD	ファンカバー	1	
6-40	GM650 0901Z0	前輪ウェイトAss'y	1	
6-41	GM650 0902ZD	ウェイト1.3	2	
6-42	K0000080352	8ボルト35	2	

7. 付属品部

GM650



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
7-1	K4810100122	スパナ10×12	1	
7-2	K4810130172	スパナ13×17	1	
7-3	K4810190222	スパナ19×22	1	
7-4	K4810240272	スパナ24×27	1	
7-5	K4818060001	六角棒スパナ3/8	1	
7-6	K4830000012	プライヤー150	1	
7-7	K4860000010	油サシA	1	
7-8	K4801000050	工具袋大	1	
7-9	K4802000050	バランス取り装置Ass'y32	1	
7-10	K4110000010	クリーナーカバー小	1	
7-11	K5130000322	ロック座金	2	
7-12	K2608GM300P01	エンジン取扱説明書	1	
7-13	K2609GM300P10	エンジン工具一式	1	
7-14	GM650 01E 02	パーツカタログ	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考



株式会社

共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL < 0533 > 84-1221(代)
FAX < 0533 > 84-1220